JCWA

カーラッピング業者懇親会

国内外から約100人参集

日本カーラッピング協会（JCWA）主催の「カーラッピング業者懇親会」が、13日午後7時半から千葉市美浜区のホテルニューオータニ幕張内で行われ、国内外から約100人が参集した。

業者懇親会は服部直己氏（㈱ハットリマーキング社長）の司会で進行。丹野智文氏（㈱アルティザン社長）の開会挨拶に続き、主催者を代表し、苅谷伊氏（㈱デザインラボ社長）は、「本日、日本カーラッピング協会のこけら落とし事業として、東京オートサロンに出展することになった。ブースではカーラッピング、ペイントプロテクションフィルム、ウィンドプロテクションフィルムの施工デモを行ったが、まだ知られていない方々にメッセージを送れたと思う。協会が目指すカーラッピング市場の活性化、拡大に貢献できるよう、役員ともども一生懸命頑張っていきたい」と述べ、今後、協会で取組んでいきたい事業方針を説明。最後に同氏は、「皆さんからのご意見、要望などを一つずつ実現できる協会にしていく。ご賛同して頂ける方は入会頂きたい」と語った。

挨拶する苅谷伊氏㊤、約100人が参加した懇親会後の記念撮影

その後、協会設立時の全理事を紹介。山家一繁氏（㈱ワイエムジーワン社長）は、「シルク印刷、オンデマンド印刷、そしてインクジェットプリンターとテクノロジーは進化し続けているが、最後の作業は人によるもの。どうやって施工技術を磨くのかを考えるときに大切なのは、いかに施工技術が優秀でも、どんな価値を顧客に提案できるかだ。これを見誤ると、世の中から弾かれる。車にフィルムを貼るという仕事を通して、どのような価値を世の中に提供できるか。大きなチャンスになると思って仕事に取組んで頂きたい」と述べて乾杯。

懇親会は、東京オートサロン（13～15日）の出展に関し、協力したスポンサー企業（スリーエム ジャパン、エイブリィ・デニソン・ジャパン、リンテックサインシステム、TECKWRAP、HEXIS／テクノプロモーション、ワイエムジーワン、PROTEC）、サブスポンサー企業（桜井、ニチエ）、出展社（PROTEC、神威プロデュース、Sロード、BOOMCRAFT、PPFSHOP、G－meister、DFCクエスト／ORAFOL、G－design、GLAD Wrapping Works、アイケーシー、ARTISAN HOUSE）、一般参加者の紹介が行われる中、山口孝二氏（G－meister代表）の中締めで10時に散会となった。

◇

日本カーラッピング協会（JCWA）は、「会員相互の親交を深め、業界の発展と市場拡大を目指し、ラッピングを通じてより良い社会生活への貢献をする」という理念を持って設立した任意団体。カーラッピング、ペイントプロテクションフィルム、ウィンドプロテクションフィルムの3部会で構成している。

東京オートサロンのブースで盛況だった施工実演デモ

入会は、カーラッピング関連の施工業務を行う法人・個人事業主・販社を対象にした「一般会員」、会員に対して顧客、材料、道具類を提供するメーカー企業を対象にした「賛助会員」をそれぞれ募集。一般会員は入会金1万円、年会費6万円。賛助会員は入会金10万円、年会費6万円。

【問い合わせ】JCWA